

# 平成29年度 焼却施設の維持管理に関する記録

下呂市クリーンセンター

## 1 処分した廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量	t	861.00	880.42	640.36	946.14	938.00	672.09	208.44	66	0.00	0.00	0.00	0.00	5212.45
2号炉	焼却量	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	460.60	469.53	807.3	713.24	676.45	3127.12
合計焼却量		t	861.00	880.42	640.36	946.14	938.00	672.09	208.44	526.60	469.53	807.30	713.24	676.45	8339.57

## 2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
燃焼室中燃焼ガス温度	1号炉	℃	849.6	841.4	807.3	835.7	836.0	810.3	813.4					827.7
	2号炉	℃								904.4	951.9	974.7	927.4	943.1
集塵機流入燃焼ガス温度	1号炉	℃	199.0	199.1	194.9	198.9	198.6	195.0	198.4					197.7
	2号炉	℃								180.4	188.9	186.1	180.7	186.2
排ガス中一酸化炭素濃度	1号炉	ppm	65.1	71.1	75.0	72.3	66.5	86.3	113.9					78.6
	2号炉	ppm								4.4	8.0	3.8	5.4	5.9
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値												

### 【用語解説】

ppm(パーセント・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるという割合を示す単位。主に濃度を表わすために用いられる。100万分の1の意

## 3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじん除去実施日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)		
排ガス処理設備(集塵機)		

※1号炉廃止

## 4 排ガス中のダイオキシン類の濃度

区分	単位	1号炉	2号炉
排ガス採取年月日		平成29年6月15日	平成29年12月22日
結果の得られた年月日		平成29年7月20日	平成30年1月30日
ダイオキシン類濃度	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.45	0.027
国基準値	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	10	5
公害防止協定基準値	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	—	0.1

### 【用語解説】

ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い物質の毒性濃度に、他の物質の濃度を換算した量として表した符号

m<sup>3</sup>N(立方メートルノルマル)…気温0℃、気圧が1気圧の状態での換算した気体の体積

## 5 ばい煙量またはばい煙濃度 (旧炉)

区分	基準値	単位	1号炉		2号炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガス採取年月日			平成29年6月15日			
結果の得られた年月日			平成29年7月20日			
ばいじん濃度	0.25	g/m <sup>3</sup> N	0.003未満			
硫酸化物濃度	-	ppm	1.6			
塩化水素濃度	700	mg/m <sup>3</sup> N	48			
窒素酸化物濃度	250	ppm	13			

※廃止日H29.12.1

H28.11.15

## 6 ばい煙量またはばい煙濃度 (新炉)

区分	単位	基準値		新1号炉		新2号炉	
		国	公害防止協定	1回目	2回目	1回目	2回目

排ガス採取年月日						平成29年12月22日	
結果の得られた年月日						平成30年1月29日	
ばいじん濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.15	0.04			0.001	
硫黄酸化物濃度	ppm	4,280	100			1.2	
塩化水素濃度	ppm	430	100			29	
窒素酸化物濃度	ppm	250	150			54	

値は、酸素12%換算値

※ 使用開始日

H30.11.15(予定)

H29.9.15